

東大の和訳&文法問題が教えてくれる 英文の基本構造

東大でも、他の国公立大学と同様、伝統的な出題形式として、下線部和訳を出題してきます。ここでも、一般に思われているようなマニアックな文法や構文が問われることはなく、むしろ文法の基本でありながら、それと気づきにくい事項、あるいは、わかったつもりでいても実際に運用するとなると難しい知識を試すものがほとんどです。

東大の出題する英文は、頭の中でわかった気がしても、いざ日本語で表現するとなると、意外と苦戦するものが多々含まれています。下線部分だけではなく、前後の文とのつながりも考え、挑戦してみてください。

なお、今回収録したもの以外にも、東大が過去に出題した問題の中で重要ポイントを含むものは、拙著、「真相」シリーズ第2弾『実は知らない 英文誤読の真相88』にも多数収録してありますので、是非あわせて挑戦されることをお勧めします。